

# しがらき通信

令和5年3月6日発行  
 令和4年度  
 3月モニタリング号  
 発行所：  
 紫香楽病院 療育指導室  
 TEL:0748-83-0101  
 FAX:0748-83-1262

令和4年度3月モニタリングは郵送対応になりました。  
 今回は8月～2月の利用児者様のご様子をしがらき通信でお伝えします。

## ～夏の療育～

☆8月☆

せっけん



ぷいよぷいよすくい

夏の制作として石けんを作りました。色を混ぜたり、好きな形を選び、匂いを付けたりしてオリジナルな石けんが出来ました！ 水遊びでは、水流を感じながら、ぷいよぷいよすくいに挑戦。夏ならではの体験が出来ました。

☆9月☆



～お月見だんご

お月さまのお話を聞いたり、歌を歌ったりして一緒にコネコネ、月見団子を作りました。また、スポーツの秋！ゲームに参加され楽しく過ごせました。

～ゲーム活動～



☆ 1 0 月

ハッピー  
ハロウィン



～木の葉の中のハロウィンチョコを探そう～

変装をしながら、魔女のほうきで秋をつつこう！  
中からステキなプレゼントが… みんなの笑顔が宝物。  
さあ一緒にハッピーハロウィン！！

☆ 1 1 月



大きなお祭りのうちわで  
落ち葉落とし…  
さあ、輪の中で  
いくつの栗を  
見つけられたかな？  
焼き栗を探し秋を  
楽しめました！

～くりさがしゲーム～



☆ 1 2 月

☆メリークリスマス☆ ～サンタさんからケーキのプレゼント！～



栄養管理室とコラボ！ハンドメイドでオリジナルケーキを作りました。自作のクリスマスツリーをお部屋に飾って、さあパーティーの始まりです・・・



キラキラのイルミネーションの中でベル演奏を、聴きました！輝く笑顔の輪がリズムと共に広がりました。

～ベル演奏☆イルミネーション☆クリスマス会～



☆栄養管理室提供行事☆



☆ハロウィンのプリン



☆かき氷☆



☆お祝いみたらし団子☆

今年の行事日には、栄養管理室の方達に料理の提供をして頂きました。  
夏祭りには、焼きそばやかき氷。ハロウィンには、びっくりプリン。七五三には、お祝いの御手洗団子。クリスマスにはハンドメイドケーキで、紫香樂の利用児者様は、ほこほこ笑顔満載。感染対策で、グループ毎の参加ですが、限られた空間の中で思いっきり季節を感じることが出来ました。



☆園芸活動☆



みんなで育てたお花がこんなに美しく咲きました

☆2月☆

春夏秋冬と季節のお花を楽しむことが出来ました！



今まで平和を守り通した紫香楽病院にもとうとう感染症がやってきました。みんなで豆まきは出来なかったですが、テイルームには大きな鬼を…紫香楽病院から鬼を追い出し福の神が来てくれますようにと、願いを込めて…



## ☆大野院長☆紫香楽病院に想いを寄せて～

皆様こんにちは、院長の大野雅樹です。2015年4月にこの病院に着任以来、8年近く経ち3月をもちまして退職することとなりました。これも、皆様方が暖かく見守っていただきました賜物かと存じます。着任した時に、自分の大きな目標の一つとして掲げたことは、利用者さんの生活をさらに充実したものとし、喜びをもって過ごしていただくようにしていく、ということでした。前職では将来保育士や幼稚園教諭になろうとする学生が学ぶ大学に勤めていました。そこで知ったことの一つとして、生活の中での「遊び」の大切さや、特別なイベントのもつ重要性がありました。それまでの様々な活動に加えて何かできないかと色々考えました。その中でも、最もやりたかったことの一つが「セラピードッグ」の導入でした。当時の師長や療育のスタッフと話し合っ、実行可能かどうかの検討を重ねて、2017年5月に初めて行うことが出来ました。その結果は、私自身も目を見張るものでした。犬と触れ合われた利用者さんの多くは、一言でいうと表情が劇的に変わるので。また、ある利用者さんは、それまで話しかけてもほとんど反応されなかったんですが、セラピー後には「また、犬来るよ」という私の言葉に、笑顔とともに大きな声も出され、セラピーのもつ力に大変驚いたとともに、利用者さんの本来のお姿を知ることができて、とても嬉しかった記憶があります。客観的な評価は困難ですが、皆さんそれぞれに、イベント前後の時間を含めて、楽しい時を過ごしていただけたと確信しております。その他いくつかの行事も行いましたが、新型コロナの感染拡大に伴い、全てが中止に追い込まれてしまいました。やろうとしたことがほとんど中途半端となってしまい、それが心残りです。ただ、状況も少し明るい兆しが見えるようになってきました。スタッフ一同変わらず努力してまいりますので、これからも紫香楽病院をよろしく願いいたします。

やさしく病棟で声をかけ、みんなに会いに来てくれた  
院長先生。いつまでも、お元気で…ありがとうございました。



## 紫香楽病院指導室より・・・

いつもお世話になっております。  
この度異動が決まり、3月末で紫香楽病院を  
離れることとなりました。  
私はコロナ禍に赴任し、今までと比べても  
明らかに若い主任でしたが、このような若輩者を、  
利用者さん達やそのご家族である皆様が受け入れて  
下さり、温かさを感じました。  
2年という短い期間ですが、ここで得た経験を  
次の場所にいる利用者さんやご家族への支援に  
繋げていきます。突然の異動となり、皆様に  
しっかりとご挨拶できず申し訳ありません。  
私の後任は、療育指導室長であり、  
とても優しい先生です。来年度からの  
新しい体制の療育指導室も、  
引き続き宜しくお願い致します。  
大変お世話になりました。

主任児童指導員 片山浩暉



平成31年4月から紫香楽病院で4年間お世話になりました。  
赴任期間、利用者様と日々療育活動をする中で紫香楽病院ならではの  
印象に残った取り組みの1つにセラピードックがあります。  
前任から引継ぎを受け院長先生のご理解と日本レスキュー  
協会様からの協力もあり、利用者様とセラピー犬とのふれあい  
活動ができました。セラピー犬とのふれあいの中では参加された  
利用者様の様々な表情が見られ、小さい動物にやさしく手を差し  
伸べ触れ合う様子を見た時には私の心の中で大きく感動を  
覚えました。この取り組みは、国立病院総合医学会で  
ポスター発表し、ポスター賞を頂きました。感染症が  
世の中に蔓延し現在取り組みは中止していますが、是非、  
今後も続けていくべき取り組みと感じています。ご家族・  
後見人の皆様とは直接お会いしてお話する機会は少な  
かったですが利用者様とは療育活動を通じて想い出を  
紡がさせて頂きました。皆さんの笑顔を胸に留めて次の  
赴任先でも頑張ります。ありがとうございました。

主任保育士 石橋純子

～新転地での活躍お祈りしています～





～院長先生と笑顔の時間～



セラピードッグ



2022/04/07



～紫香楽病院に花いっぱい笑顔が広がりますように～



今回は感染により、多大なご心配をおかけいたしました。

3月に入り、紫香楽病院に収束宣言が出て、ようやく平穏な日々が戻って参りました。利用者様、ご家族のみなさまにも安心して療養生活を送っていただけるよう職員全員で取り組んでまいります。これからもよろしく御願ひ致します。